

空を楽しむ

空には鳥の飛んだ跡も、蚊の飛んだ跡も、不愉快な跡は消えて何ものも残さないが、輝かしいもののみは厳然として常に光を放っている。太陽は万古に輝き、月は白く清く光っている。

星は美しく空一杯に点在している。美しいもののみを輝いているのが空の理である。跡を残さないとほんなことかと言え、空には、鳥も飛べば鉄砲の弾も飛べば矢も走る。飛行機も飛ぶし、煙は常に流される。しかし、一度通ってしまったらどこをどうして通ったことや少しも跡形を残さない。即ち、全くの天空である。通った跡がいつまでも空にとどまっていたら、この世は全く闇となるのである。

人生行路は、決して平凡ではない。山もあり川もあり谷もある。この多難の航路を多種多様な人々が歩むのである。性格の相違、立場の違いなどから、感情の衝突も起これば利害の争いも生じる。これらは、空を飛ぶときに必ず空気の抵抗があるようなものである。一生懸命やったのに失敗したという悔しさも真心込めて努めたのに裏切られたという事態に出会うことも少なしとしない。「こん畜生、見ておれ。あの恨みは死んでも忘れぬ。この残念をきつと晴らしてみせる。」などと胸に黒線を残しては、空に跡を残すことになり、空という理に反するものである。不愉快な一切の痕跡をとどめないところに青空の楽しみがある。

空を楽しむとは、自分の胸に過去の不愉快な思い出の痕跡を残さないことである。生きることの楽しさは、この心になれるかどうかにかかっている。

★ご相談・お問い合わせは…

《天理教からのメッセージ》

空を楽しむ

空には鳥の飛んだ跡も、蚊の飛んだ跡も、不愉快な跡は消えて何ものも残さないが、輝かしいもののみは厳然として常に光を放っている。太陽は万古に輝き、月は白く清く光っている。

星は美しく空一杯に点在している。美しいもののみを輝いているのが空の理である。跡を残さないとほんなことかと言え、空には、鳥も飛べば鉄砲の弾も飛べば矢も走る。飛行機も飛ぶし、煙は常に流される。しかし、一度通ってしまったらどこをどうして通ったことや少しも跡形を残さない。即ち、全くの天空である。通った跡がいつまでも空にとどまっていたら、この世は全く闇となるのである。

人生行路は、決して平凡ではない。山もあり川もあり谷もある。この多難の航路を多種多様な人々が歩むのである。性格の相違、立場の違いなどから、感情の衝突も起これば利害の争いも生じる。これらは、空を飛ぶときに必ず空気の抵抗があるようなものである。一生懸命やったのに失敗したという悔しさも真心込めて努めたのに裏切られたという事態に出会うことも少なしとしない。「こん畜生、見ておれ。あの恨みは死んでも忘れぬ。この残念をきつと晴らしてみせる。」などと胸に黒線を残しては、空に跡を残すことになり、空という理に反するものである。不愉快な一切の痕跡をとどめないところに青空の楽しみがある。

空を楽しむとは、自分の胸に過去の不愉快な思い出の痕跡を残さないことである。生きることの楽しさは、この心になれるかどうかにかかっている。

★ご相談・お問い合わせは…

《天理教からのメッセージ》